巻 頭 言

大学院歯学研究科長　宮﨑　隆

昭和大学歯学部は昭和52年に設立されましたが、学部の完成年度である昭和58年に大学院歯学研究科の設置が認可されました。以来、本歯学研究科は医系総合大学である昭和大学の一員として、卒後の専門教育とともに、全身の健康との関わりをもとに歯学に関する先端的かつ独創的な研究を押し進めてきました。全国の大学院歯学研究科のなかでも、最も活発な研究活動をしている研究科のひとつであり、多くの大学院生が学び社会に育っていきました。

発展する歯学に対応して、本歯学研究科は、歯科基礎医学系、口腔病態診断科学系、歯科保存学系、先端歯科学系、全身管理歯科学系、スペシャルニーズ口腔医学系の各専門領域のなかで、26の専門科目に別れて教育しています。そして大学院生が高度な歯学を習得するために、本研究科では主科目、副科目の履修に加えて、共通科目と選択科目、さらに英語の履修を義務付けています。

とりわけ本研究科では共通科目として、大学院で研究に従事するにあたり、研究者に共通の知識と技術を修得することを目的に、生体の組織構造解析法、生体の病理病態学的解析法、生体の機能解析法、分子生命科学的解析法、医学生物における統計的解析法等を開講し、医学研究科の教員も指導にあたり初年次に基本を修得するようにしています。また、歯学研究科では従来から英語教育に力をいれ、ネイティブ教員のもとで科学論文の実践的な読み方に加えて、国際学会での学会発表法を教育し、かつその実践を奨励してきました。

現在、本歯学部ならびに本歯学研究科には、世界のトップレベルの歯学系研究施設と比べても遜色のない、最新かつ最先端の研究機器が導入されています。研究指導する教員も我が国の歯学研究分野ではトップレベルを誇っています。ぜひとも各大学院生におかれましては、このシラバスを活用して、専攻科目の単位を履修し、歯学研究の共通の基礎的手法を習得するとともに、各分野で専門性の高い研究に従事して論文をまとめ、世界に広く発信することを期待しています。